

ふりがな

こいど あきひろ

氏名

小井土 彰宏

1. 学歴 [大学学部卒以降]

- 1982年3月 東京大学文学部社会学科卒業
1982年4月 東京大学大学院社会学研究科社会学専攻修士課程入学
1985年3月 東京大学大学院社会学研究科社会学専攻修士課程修了 (社会学修士取得)
1985年4月 東京大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程進学
1986年9月 The Johns Hopkins University, Department of Sociology, Ph.D Course. 入学
(Fulbright Program による留学)
1992年7月 The Johns Hopkins University, Department of Sociology, Ph.D Course. 修了
1992年11月 東京大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程 満期退学
1993年5月 Ph.D. in Sociology, The Johns Hopkins University 取得

2. 職歴・研究歴

- 1989年9月 University of California, San Diego, Center for U.S.-Mexican Studies, Visiting Research Fellow
(~1990年8月)(Fellowship from UCSD, & Predoctoral Research Grant from National Science Foundation)
1992年12月 北海道大学文学部助教授
1996年4月 上智大学外国語学部助教授
2001年4月 一橋大学大学院社会学研究科助教授
2004年4月 一橋大学大学院社会学研究科教授(現在に至る)
2004年9月 Princeton University, Center for Migration and Development,
Visiting Research Fellow (~2005年6月, as a Fulbright Scholar)
2005年7月 University of California, San Diego, Center for Comparative Immigration Studies, Visiting Scholar
(~2005年9月)
2014年9月-2015年8月 Instituto Universitario de Investigacion, Ortega y Gasset, Madrid, Investigador Visitante
(オルテガ・イ・ガゼット大学院大学研究所 客員研究員)
2014年9月-2015年5月 Centro de Ciencias Humanas y Sociales, Consejo Superior de Investigaciones Cientificas
(CSIC), Profesor Visitante (スペイン国立科学研究評議会、人文社会研究所、客員教授)
2015年6月-9月 Visiting Professor CIDOB (Centre de Documentacio Internacional de Barcelona)
Barcelona Institute for International Affairs. (バルセロナ国際問題研究所 客員教授)
2017年8月 UCLA Downtown Labor Center、Visiting Scholar
(カリフォルニア大学ロサンゼルス校、労働研究センター 客員研究者)

3. 学内教育活動

(A) 主な担当講義名

(a) 学部学生向け

国際社会学I、国際社会学II、国際社会と文化、国際社会の課題、国際政治社会学

(b) 大学院

国際社会学特論、国際政治社会学（学部と共修）、社会科学研究の基礎Ⅰ、社会科学研究の基礎Ⅱ、社会科学研究の基礎Ⅲ、リサーチワークショップ

(B) ゼミナール

学部ゼミ後期ゼミナール、大学院ゼミナール、

社会研究入門ゼミナール、導入ゼミナール、Introductory Seminar for Social Research

4. 主な研究テーマ

国際社会学、国際移民論、移民政策の国際比較、国際発展論、企業の国際化と地域社会

5. 研究活動

A. 業績

(a) 著書・編著

「地域レベルでの家事労働者、その闘争の構造と動態——カリフォルニア州の多元的社会運動と地域的規制の意味するもの」伊藤るり 編『家事労働の国際社会学——ディーセント・ワークを求めて』、人文書院, 2020 pp.260-288

「技能—日本的理解を刷新するとき」高谷幸編『移民政策とは何か』, 人文書院, 2019.4.p.205-225, 友枝敏雄・山田真茂留編『社会学の力』, 有斐閣, 2017.6「資本主義と世界システム」 pp.152-155

『移民受入の国際社会学——選別メカニズムの比較分析』（編著）名古屋大学出版会, 2017

「現代アメリカ合衆国における移民の社会運動と公共圏の再編成——重層的境界構造の転換と非正規移民たちの熟議への参加」船橋晴俊・壽福眞美編『公共圏と熟議民主主義——現代社会の問題解決』 法政大学出版会, 2013. Pp.65-94,

「現代アメリカの非正規滞在者をめぐる政治的分裂と社会運動の台頭」渡戸一郎、鈴木江理子、A P F S編『在留特別許可と日本の移民政策——移民選別』時代の到来』 p.50-66, 明石書店, 2007.5

「エスニシティ」 宮島喬（編）『現代社会学(改訂版)』有斐閣 1995. pp. 115-134.

「国際移民の社会学」梶田孝道編『新・国際社会学』 名古屋大学出版会, 2005.p.22-43,

『移民政策の国際比較』（編著）, 明石書店, 2003

「NAFTA 圏と国民国家のバウンダリー——経済統合の中での境界の再編成」梶田孝道・小倉充夫編『講座 国際社会 3 国民国家はどう変わるか』, 東京大学出版会, 2002 pp.167-194.

「産業再編成と労働力市場の国際化——越境的労働力利用の双方向的発展と多元化」 小倉充夫・加納弘勝編『講座社会学 16 国際社会』, 東京大学出版会, 2002 p.31-83,

「国際移民システムの形成と送り出し社会への影響——越境的なネットワークとメキシコの地域発展」 小倉充夫編『国際移動論——移民・移動の社会学』, 三嶺書房, 1997 p.p.33-66

「エスニシティ」宮島喬編『現代社会学』, 有斐閣, 1995、pp.115 - 134

「メキシコ系“非合法”移民労働者とアメリカ国家——歴史的動態と1986年移民改革法」百瀬宏・小倉充夫（編）『現代国家と移民労働者』有信堂 1992. pp. 89-118

“The Color Television Industry: Japanese-U.S. Competition and Mexico’s Maquiladoras.” Gabriel Szekeley (ed.) *Manufacturing Across Borders and Oceans*. Center for U.S.-Mexican Studies, University of California, San Diego. Monograph Series, No.36. 1991. p.51-75

「新国際分業と社会変動——多国籍企業の新戦略を中心として」 庄司興吉編 『世界社会の構造と動態——新

しい社会科学をめざして』法政大学出版会、1986. pp.59-76

(b) 論文

- * "Migration: Diversifying Transnational Flows under Neo-Liberal Transformation" *International Sociology Review* 2021
- 「特集 2018 年改定入管法と制度化への多角的分析 特集主旨」小井土彰宏編『移民政策研究』 通巻 12 号, 明石書店, 2020.5 p.5-8
- 「新自由主義的移民政策潮流の中での 2018 年入管法改定——政策キーワードとしての<技能>をめぐるパラドクス」『多文化社会研究』 通巻 6 号, 長崎大学多文化社会学部, 2020.3 p.417-436,
- 「後発的移民受け入れ国スペインに学ぶ政策革新——分断された政策空間の統合をめざして」『中央公論』 第 133 巻第 6 号, 中央公論社, 2019. p.68-75,
- 「移民政策における多段階的選別構造の形成とその権利への影響～世界的政策接近の中での 2018 年入管法改正～」『Work & Life 世界の労働』 2019 年 2 号 月号, 日本 ILO 協会, 2019.4 p.2-9,
- 「新自由主義的移民政策の潮流の中で——日本の入管法改定を問う」『現代思想』 2019 年 4 月号, 青土社, 2019.3 p.47-58,
- 「日本における移民管理レジームの転換と社会福祉 ——歴史的パースペクティブの中での新・入管法体制——」『社会福祉研究』 通巻 135 号, 公益財団法人鉄道弘済会, 2019.7 p.25-35,
- 「特集「国際移民と日本社会」によせて」(共著) 小井土彰宏・上林千恵子編『社会学評論』日本社会学会, 2018.3 通巻 272 号, p.1-14,
- 「カリフォルニア州家事労働者の権利章典恒久化への道——ローカル水準での多面的移民権利運動とディセント・ワークへの一歩」伊藤るり編『移住家事労働者と ILO189 号条約——組織化、権利保障、ランスナショナルな連帯』 科学研究費 成果報告書, 一橋大学国際社会学プログラム, 2018.3 p.165-183,
- 「新興移民国家スペインにおける移民政策の形成と変容——国境管理と社会統合政策の制度構築と危機の中での転換」小井土彰宏編 『選別的移民政策の国際比較—新自由主義/新保守主義と国民国家の境界再編成』, 一橋大学社会学研究科国際社会学プログラム, 2015.3 pp.159-192,
- 「選別移民政策の比較分析への視点——概念の再検討とその射程」小井土彰宏編『選別的移民政策の国際比較—新自由主義/新保守主義と国民国家の境界再編成 (科学研究費成果報告書 基盤研究 A 24252008)』, 一橋大学社会学研究科国際社会学プログラム, 2015. pp.1-16,
- * 「グローバリズムと社会的排除に抗するアメリカでの非正規移民運動——監視機構の再編と新自由主義的排除メカニズムへの対抗戦略の諸相」『社会学評論』 第 65 巻第 2 号, 日本社会学会, 2014 pp.194-209
- 「岐路に立つアメリカ移民政策と移民社会」小井土彰宏 (編) 『転換期のアメリカ合衆国移民政策の社会学的分析——9.11 事件以降の入管政策の強化と「非合法」移民への対応 科学研究費成果報告書 基盤研究 A 研究課題番号 16402026』 pp1-33
- 「移民規制機構の全面的な再編成——移民帰化局から DHS への転換とその政策的効果」小井土彰宏 (編) 『転換期のアメリカ合衆国移民政策の社会学的分析——9.11 事件以降の入管政策の強化と「非合法」移民への対応 科学研究費成果報告書 基盤研究 A 研究課題番号 16402026』 pp35-77
- 「9.11 以降の移民人口の動態と全米レベルでの移民規制・取締り——乖離する“安全保障のレトリック”と“規制の実態”」小井土彰宏 (編) 『転換期のアメリカ合衆国移民政策の社会学的分析——9.11 事件以降の入管政策の強化と「非合法」移民への対応 (科学研究費成果報告書 基盤研究 A 研究課題番号 16402026)』 pp78-109.
- * 「グローバル化と越境的社会空間の編成——移民研究におけるトランスナショナル視角の諸問題」『社会学評論』 通巻 222 号, p.381-399, 日本社会学会, 2005.9
- * “La industria de televisores a color en la frontera de Mexico con Estados Unidos.(en Espanol) =The Structure of

Agglomeration of CTV Industry in the U.S.-Mexican Border: Its Potential and Limits to Local Development in the Context of New Global Competition.” *COMERCIO EXTERIOR*, Banco Nacional de Comercio Exterior, 2003.6

「境界をめぐる思考——国際社会学的な視点の社会学にとっての意味」『一橋論叢』第127巻第4号, 2002 Pp446-461.

「電子工業」アジア経済研究所編『民間経済協力調査報告書——メキシコ』, アジア経済研究所, 1995 Pp186-228

“Between Two Forces of Restructuring: U.S.-Japanese Competition and the Transformation of Mexico's Maquiladora Industry” (*Ph.D. Dissertation*) Submitted to The Johns Hopkins University, Baltimore, MD, U.S.A. 1992. pp1-468

(c) 翻訳

「コスモポリタン社会とその敵——世界市民主義宣言」(原著:ウルリッヒ・ベック), 梶田孝道・小倉充夫編『講座国際社会5 グローバル化と社会変動』, 東京大学出版会, 2002

(d) その他

[書評・新刊紹介]

・(書評)

宮島喬著『移民の統合と排除——問われるフランス的平等』(東大出版会, 2009), 『移民政策研究』通巻2号, 2010.5

「山田信行著『労使関係の歴史社会学——多元的資本主義発展論の試み——』ミネルヴァ書房『ソシオロジ』 pp.149-153. 1997.

「梶田孝道著『新しい民族問題——EC 統合とエスニシティ』中公新書『社会学評論』1994 第44巻3号 p. 345-346 1993

[辞書・辞典等の項目執筆]

吉見俊哉他編『現代社会学事典』, 弘文堂, 2012.10 (執筆項目: 移民、世界システム論、外国人労働者)

日本社会学会監修『社会学辞典』, 丸善, 2010.9 (執筆項目: グローバルゼーションの社会学の編集・執筆, 47頁)

「世界システム論」庄司洋子他 編『社会福祉辞典』弘文堂 p.625. 1999.

「南南問題」庄司洋子他 編『社会福祉辞典』弘文堂 p.767. 1999.

「貧困(第三世界の)」庄司洋子他 編『社会福祉辞典』弘文堂 p.840. 1999.

[一般雑誌等への論文・記事等の掲載]

「グローバルゼーション——その未来と現実」(誌上シンポジウム)『ソフィア』第192号. pp.365-399. 1999.

B. 本研究科着任後の研究活動(着任2001年)

(a) 国内外学会発表

* 「新自由主義的移民政策の潮流の中で改定入管法を考える—技能をめぐるジレンマの構図—」, 移民政策学会大会, シンポジウム 「日本社会の移民新時代を迎えて—九州の現実から移民政策を問う基調講演」2019.12, 長崎大学多文化社会学部

* “La transformación renuente de las políticas de inmigración de Japón : 1999-2019” Conferencia de COLEF. En Seminario Permanente del Departamento de Estudios Sociales Colegio de la Frontera Norte, Tijuana, Baja California, Mexico. Agosto, 19, 2019 (スペイン語での招待講演)

- * 「入管法改定と多文化共生の拠点」, 移民政策学会 年次大会 シンポジウム「日本の地域社会の実情から多文化共生を考える」, 2019.5, 立教大学
- “Reluctant Transformation of Japanese ‘Immigration Policies’ and Fragmented Transnationalization: An Overview of Policies”, Japan Panel in the International Symposium “Border/Boundary Control in the Age of Transnationalization.”, 2018.10, 一橋大学インテリジェントホール
- *“Multiple modes of transnationalism around Japan: Diversifying Migrant Populations and Policy Paradoxes”, public lecture at Rutgers University, 2018.3
- ・「カリフォルニア州家事労働者の権利章典恒久化への道 —— ローカルな多元的移民権利運動と地域間・国際的闘争の作用」, 国際シンポジウム『移住家事労働者の権利保障とILO189条約——アジア、ヨーロッパ、アメリカ、そして日本』, 2016.12, 一橋大学
- ・「地域主義とトランスナショナリズムが交錯するところ——バルセロナ市における移民包摂政策の諸戦略と問題点」, 日本社会学会, 2016.10, 九州大学
- *“The deepening contradictions of “immigration policies” without social integration mechanism in Japan: Its background and its contrast with Catalan Immigration Policy”, La Conferencia Publico de CIDOB, 2015.9, Barcelona Institute for International Affairs
- *“Analysis of transnational migration at high and low levels of the economy: Issues of transfer of theories and articulation of modes of thinking in Japanese context”, presentation at symposium "Importing and Exporting Migration Theory across Continents: Europe, North America, and East Asia / (2) Exporting European Migration Theory to East Asia" in The 22nd International Conference of Europeanists "Contradictions: Envisioning European Futures" Council for European Studies, 2015.7, Sciences Po., Paris (ノパリ政治学院)
- *“Deepening Contradictions of Contemporary Japanese 'Immigration' Policies: Multiple gates of incorporations and diverse modes of legitimation.”, 2015.6, Seminario Permanente Instituto de Ecomia, Geografia, y Demografia. Centro de Ciencias Humanos y Sociales. Consejo Superior de Investigacion Cientificas
- *“Japanese "Immigration" Policy at a Crossroads: Structuration and Legitimation of Diversifying Migrant Populations and Coming Challenges”, Departmental Seminar for Transnational Studies, 2015.6, Department of Sociology, Bielefeld Universitaed
- *“Multiple modes of transnationalism around Japan: Diversifying Migrant Populations and Policy Paradoxes”, 2015.5, Department Seminar, Department of Sociology, Central European University. Budapest, Hungary
- *“The Incorporation of Multiple Forms of “Informal Labor” into Changing Japanese Labor Markets: An Analysis of the Local and Global Context”, The Global Market of Unskilled Labor: A Research Conference, 2013.10, Department of Human Ecology, University of California, Davis
- ・ “Development of Transnational Sociology in Japan: Its historical structural context and an overview of its major findings in comparative perspective”, International Conference for The 20th anniversary of Hitotsubashi Transnational Sociology Program”, 2013.6, マーキュリーホール、一橋大学
- *“Structural Conditions for Limited Diaspora Consciousness: Oversea Japanese in Historical and Global Perspective”, International Conference on Korean Diaspora Studies : Issues, Theories, and Methods of Diaspora and Transnationalism, 2012.9, University of Korea
- ・「犯罪者移民取締りの名の下に —オバマ政権下での移民規制戦略と移民の体験—」, 関東社会学会, 2012.6, 帝京大学八王子キャンパス
- ・「新たな規制戦略と闘う非正規移民たちの語り —Los Angeles 地域の三つの労働現場 検挙事件の比較分析—」, 第7回国際社会学研究会 佐野書院, 2012.1, 一橋大学 佐野書院
- ・「ポスト9.11期の移民規制に立ち向かう「非合法」移民たちのライフ・ヒストリー」, 日本社会学会大会, 2011.9,

関西大学

- *“A New Direction of Japanese Immigration Policy?: Multiple Flows, Inconsistent Policies, and Fragmented Bureaucracy under the Globalization”, International Symposium: Today's Trends of Global Migration in Japan and Indonesia, 2010.10, Udanaya University, Bali, Indonesia
- *「移民の社会運動と公共圏の境界再編成 —現代アメリカ合衆国を焦点にして—」, 『公共圏の創生と規範理論の探求』 シンポジウム 報告, 2010.5, 法政大学 (招待講演)
- ・「合衆国移民取締り政策の転換の労働現場・地域社会への影響 G.W. ブッシュ政権末期における労働現場検査戦略の社会的な機能」, 日本社会学会大会, 2009.10, 立教大学
- *「転換期の現代アメリカ合衆国の移民政策—9.11 事件の衝撃と重層的管理様式の再編成」, 比較政治学会大会 共通論題パネル 「移民と国内政治の変容」, 2008.6, 慶応大学 日吉キャンパス (招待後援)
- *「労働市場のエスニックな多元化と産業再編成」 関東社会学会 第 49 回大会 テーマ部会 A 「社会構造の変容とエスニシティ」 (招待報告) 2001 年 6 月 東京女子大学

(b) 国内研究プロジェクト

1. 科学研究費補助金基盤 (A), 「移民受入れ国-送出し国の政策相互連関——国際社会学からの比較研究」 (研究代表者), 日本学術振興会, 2019.4.1-2022.3.31
2. 国際交流基金・知的交流資金, 「国際シンポジウム「後発的移民受入国の国際比較——移民受入れ政策をめぐる 21 世紀におけるスペインの経験と日本のこれから」; International Symposium “International Comparison of Latecomer Nations of Immigration: Experiences of Spanish Social Integration Plan in the early 21st Century and Lessons for Ja」 (研究代表者), 国際交流基金, 2019.11.15-2019.11.16
3. 三菱財団 人文科学助成, 「後発的移民国の社会統合政策の比較—スペインと日本における多文化共生政策の制度化と実践を焦点として」 (研究代表者), 三菱財団, 2019.10.1-2021.9.30
4. 野村財団社会科学助成・講演会, 「トランスナショナルリズム時代の国境/境界管理——北米・EU・日本の比較分析」 (研究代表者), 公益法人野村財団, 2018.10.27-2018.10.28
5. 二十一世紀文化学術財団学術奨励金, 「EU 共通難民政策の制度再編成と難民の越境的社会組織の構造化」 (研究代表者), (公益法人) 21 世紀文化学術財団, 2016.4.1-2017.9.30
6. 科学研究費補助金基盤(A), 「移民・難民選別システムの重層的再編成——9ヶ国の国際比較と越境的構造分析」 (研究代表者), 日本学術振興会, 2016.4.1-2019.3.31
7. 科学研究費補助金基盤(A)海外, 「選別移民政策の国際比較——新自由主義/新保守主義と国民国家の再編成」 (研究代表者), 日本学術振興会, 2012.4.1-2015.3.31
8. 日本経済研究センター研究奨励金, 「合衆国における移民規制厳格化の中での「混合身分家族」の多様化とその社会意識——家族内部における市民権格差構造の影響のライフ・ヒストリ的分析」 (研究代表者), 2011.4.1-2012.3.31
9. 科学研究費補助金基盤(B)海外, 「ネオ・リベラリズムの潮流下での移民改革の矛盾と移民の社会運動」 (研究代表者), 日本学術振興会, 2008.4.1-2011.3.31
10. Fulbright Scholarship, Sociological Analysis of Post-9.11 Immigration Policy in the U.S., 日米教育委員会, 2004.10-2005.9
11. 科学研究費補助金基盤研究(B)(2), 「転換期のアメリカ合衆国移民政策の社会的分析」 (研究代表者), 日本学術振興会, 2004.4.1-2007.3.31
12. 日本証券奨学財団研究調査助成金, 「中国との国際競争が他の途上国における産業集積に与える影響の分析——メキシコ北部工業地帯の再編成と NAFTA の試練」 (研究代表者), 日本証券奨学財団, 2003.12.1-2004.9.30
13. 文部省科学研究費基盤研究 B(2), 「労働市場の国際化と地域社会の再編性——北関東における企業の海外移

転と外国人労働者」(研究代表者), 1999-2001 年度

(c) 国際研究プロジェクト

「後発的移民国の社会統合政策の比較—スペインと日本における多文化共生政策の制度化と実践を焦点として」
(研究代表者), Universidad Complutense (スペイン、マドリード) の Joaquin Arango 教授との共同プロジェクト、三菱財団 人文科学助成, 2019.10.1-2021.9.30

(d) 研究会、シンポ等のオーガナイズ

International Symposium International Comparison of Latecomer Nations of Immigration: Experiences of Spanish Social Integration Plan in the early 21st Century and Lessons for Japan.(後発的移民受入国の国際比較——21世紀の移民受入れ政策をめぐるスペインの経験と日本のこれから) 2019.11. 一橋大学 東キャンパス 東2号館
Workshop on Ethnographic Methods for Transnational Research (移民研究方法ワークショップ) 佐野書院 会議室
2018年11月1日 with Professor Robert C. Smith (CUNY)
The International Symposium *Border/Boundary Control in the Age of Transnationalization.*, (トランスナショナリズム時代の国境/境界管理——北米・EU・日本の比較分析) 2018.10, 一橋大学インテリジェントホール
International Conference for The 20th anniversary of Hitotsubashi Transnational Sociology Program. Comparing Regional Perspectives of Transnational Sociology: North America, Europe and East Asia、(「国際社会学への地域的パースペクティブ-北米・ヨーロッパ・東アジアの比較にむけて-」) 2013.6, マーキュリーホール、一橋大学

6. 学内行政

(B) 学内委員会

一橋論叢編集委員会、英語改革 Working Group、

7. 学外活動

(a) 他大学非常勤講師など

2003年 東京女子大学 現代教養学部 (「世界社会論」担当)
2006年 東京大学文学部 (「社会学特殊講義」担当)
2006年 法政大学大学院 国際文化学研究科 (「トランスナショナル論」)

(b) 所属学会および学術活動

日本社会学会 社会学評論編集委員、研究活動委員、国際交流委員、
移民政策学会 機関誌『移民政策研究』編集委員会・委員長 (2019年—現在)
関東社会学会

(e) その他(公的機関・各種団体・民間企業等における講演等)

中部経済連合会 国際委員会招待 講演会 「内なるトランスナショナル化の新段階に向かって——「労働力」
輸入を超えて」2019年3月16日 名古屋市

9. 一般的言論活動

朝日新聞 共生のSDGs特集 2「振り回される技能実習生 母国に子ども、借金抱え来日」2020年12月29日

インタビュー、取材協力・知識提供

NHK、クローズアップ現代+、2020年11月11日 放映「日本で暮らし続けたい〜ルポ “在留資格” のない子どもたち〜」取材協力、知識提供

日本記者クラブ 講演会 「日本の労働を誰が支えるのか」(6) 先進的受入国から学ぶもの、後発国から学ぶもの」 2019年3月26日 プレスセンター